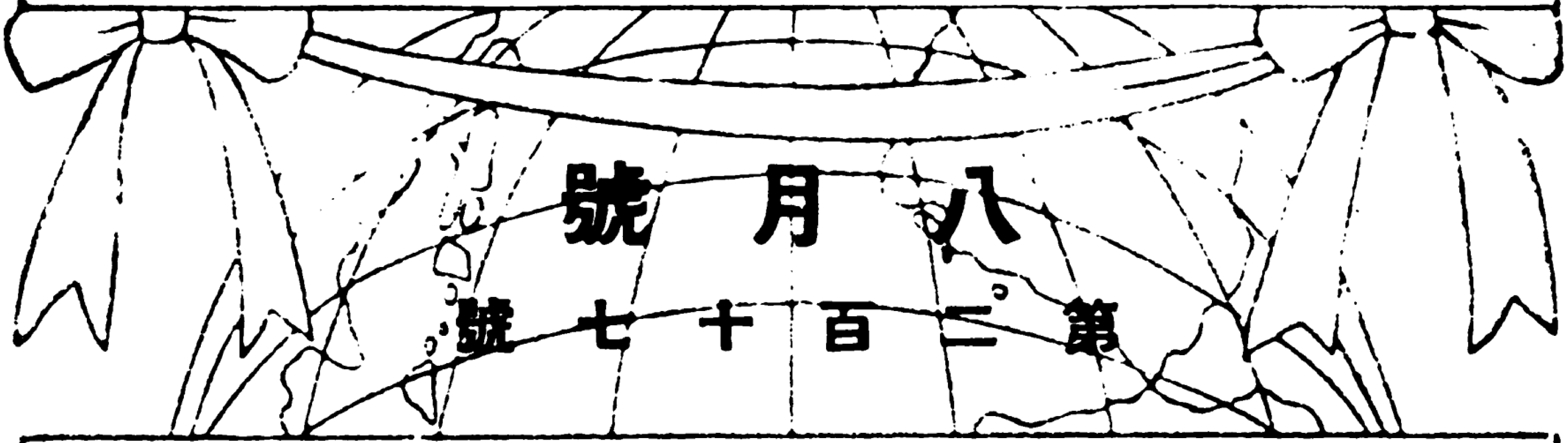
大正四年七月廿八日發行（毎月一回二十八日發行）

婦人新報



八月號

第二百十七號

婦人新報第二百十七號目次

休暇の必要　矢島楫子
桑港世界博覽會と基督教　小室篤次
基督は我等が途　杉山重義
肩身の狹い思ひ　二階堂とくよ子
婦人仕事衣の作り方　加藤咲子
夏向の三品料理　松宮信子
歸京して　安中花子
南國の家族　小橋初子
はたらき
　婦人ホームの爲め慈善大音樂會　守屋東子
　御大典記念運動につき市の要路を訪ふ　和佐咲子
　看護婦招待會　小石川青年部
各地通信
　本部、芝、麹町、弘前、大阪、呉
編輯室より　エー、エム
英文　杉本鍋子

基督教婦人矯風會

産婦人科
小兒科
鷲山改め
女醫 吉岡彌生
△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後
産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず
東京市麹町區飯田町
四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七番

社告

◎婦人新報定價(郵税共)

一部(前金) 金六錢
六部(前金) 金三十五錢
十二部(前金) 金七十錢
(郵券代用一割增)

◎廣告料

一行(五號活字) 金十錢

編輯及事務所 赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所 電話新橋一〇三六

大正四年七月廿六日印刷
大正四年七月廿八日發行
發行兼印刷人 矢島俱
編輯人 高原學
發行所 東京赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所 婦人新報社
印刷所 東京神田鎌倉河岸 丸利印刷所

No. 217. JULY, 1915.

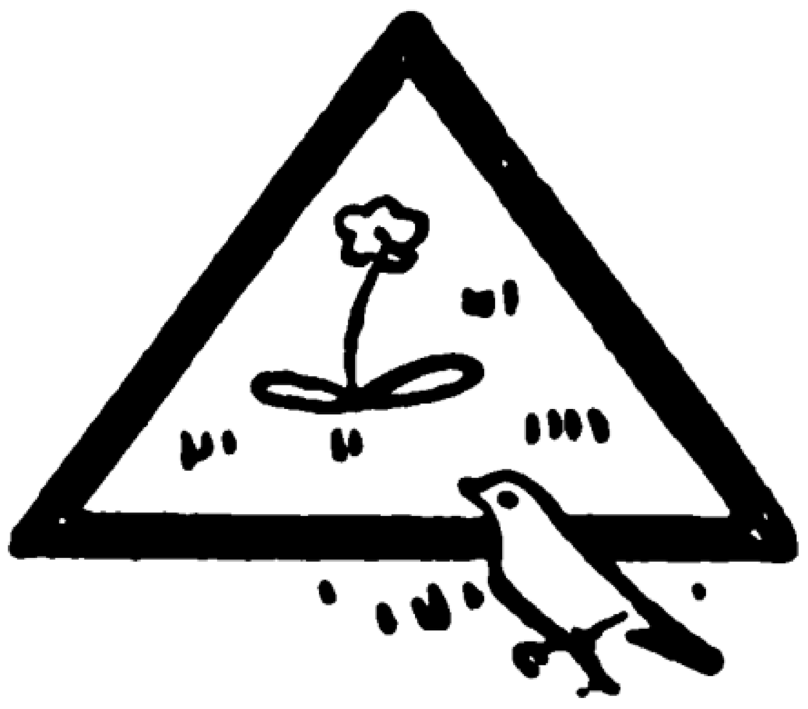
WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

Vacation. Madam Yajima.
Christianity and the Panama Exposition. Rev. Atsuji Komuro.
Christ, our Path. Mr. Shigeyoshi Sugiyama.
My Experiance in Humiliation. Miss Tokuyo Nikaido.
How to make a working dress for women. Mrs. Saku Kato.
Three Summer Dishes. Mrs. Yatsumiya.
My Return to the Capital. Miss Hana Annaka.
Family Life in the South Seas. Miss Hana Kohashi.
Activities;-
The Grand Benefit Concert. Miss Azuma Moriya.
Interviews with Authorities, concerning. Coronation work. Mrs. Saku Wasa.
Our Entertainment for Nurses. The Koishikawa Y.
Reports;-
Headquarters. Shiba. Kojimachi Hirosaki Osaka. Kure.
A Message from the Editorial Room.
English Department. Mrs. Etsu Sugimoto.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 3, Tameikemachi, Akasaka, Tokyo.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



休暇の必要

矢島楫子

△休暇は課業同樣に大切

近年敎育者の間などに暑中休暇不必要論や、避暑廢止論等が稱へられ、或は二ケ月に亙る休暇を廢せば、高等女學校五ケ年の課程を四ケ年に短縮することも出來やうとか、或は日本のやうな貧乏國で、學生時代から避暑や旅行でもあるまいなどゝ申し、孰れも一應は尤ものやうに聞える說をなさいます。然しながら私は休暇と申すものは、學校の課業同樣大切なもので、恭しくこれを過させねばならぬと思ひます。殊に避暑の爲め、或は單に旅行して轉地することは、身體上に有效なことである許りでなく、精神敎育上缺くべからざるものであると存じます。

△淋しさの實驗

都住ひの狹苦しい中にあつたものが、幽玄な自然の風物に接して云ひ知れぬ淋しさを實驗することは、若い人にとつて非常に必要なことであります。この淋しさの中に心を落着けて、靜かに讀書し、默想して、初めて日頃上の空に過して居つた事が心に泌み渡るものであります。「可愛いゝ子には旅をさせよ」と昔から申しましたが、いかに交通の便利な今日でも、旅となればいろ〳〵の不自由もし、またうら悲しい思ひもするものです。それ故出來るならば、可愛いゝ子を親の膝

下から離して、しつかりした他人の手に托することがなほ一層よろしいと存じます。私共も若い者を連れてはよく避暑を致しましたが、旅に居て讃美歌をうたひ聖書を讀むと特別の味ひが解ると皆が申しました。

△沈默の時を作ること

一校を監理する際にも、これをよく治めやうとする場合には、一日に三十分なり四十分なり沈默の時を作ることが必要です。況して一年なり、人の一生になりは、閑散の時を作つて、靜思する事が大切で、その間に精力を恢復し、新らしい活力を蓄へることは思ひ半ばに過ぐるものでありませう。昔の詞にも「智者心靜かなれば物を照らす、愚者靜かなれば居眠る」と申してありますが、始終走馬燈のやうに働らいて居らなければ事が擧らぬと思ふのは間違ひで、苟も居眠らぬ限りは、靜かな時に前途の方針計畫を明らかに照し、またはわが身の修養を充分になすことが出來るのであります。然るに日本の人はともするとばつたりと斃れる迄働らくことを誇りとして居るかの如き弊があるやうであります。

△初めて避暑した思出

尤も避暑や旅行の方法に就ては、大に考へなければなりません。我が國の避暑地と云へば、忽ち都會化して、料理屋あり、怪しい女の居る家があつて、三味の音や、淫猥な歌が聞えて來る許でなく、一寸の外出にも裝ひを凝らさなければ、人目をわぶるといふ風なのは、却つて多くの金を費して、有害な風をまなぶ事になります。それ程でなくとも人の餘り多く行く處は日頃疎遠の人々がどつと集まつて來るので、交際疲れがして終ひます。それ故成るべく人の行かない新らしい處を撰んで、極々節約して一夏を過す工夫をしたいものです。私も東京に出て働らき始めは、西洋人等が頻りに避暑を勸めましたが、平常忙しいから、夏の間丈けなりと緩りと殘務を處理したいからと申しては、せつせと働らいて居りました。然し明治二十一年の夏

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初めて避暑を思ひ立ち、碓氷峠の麓の温泉に近い餘り人の行かない處に、生徒を十數人連れて避暑して見ましたが、入費とてはもとより無代價のやうに濟みましたし、湯亭は漢學の思想のある面白い人でしたから、萬事に便宜を計つてくれて愉快に過しました。翌年からは西洋人と相談して、其處に地所を買ひ、小さい家を作りまして、五つ夏位は行きましたが、何しろ山間の僻地とて、時々嵐があつて、夏の來ない内に二三度も家を修繕しなければならない面倒があつたので、手放して終うことにしました。

△極めて簡易な生活

其の後房州に參りましたが、土地が殺風景の爲め、永續きがしませんで、翌年は伊豆の戸田に行きました。此處もまだ人の知らない時分で、從つて物賣りなども無く、擂鉢を二つ買つて一つは食事用に、一つは洗面にと云つた樣な簡易生活でした。土地の者も至つて朴直で、停車場から家迄五分間計りの處に物を運ばせる剛力が、天秤が撓う程擔いで、いくらかと聞くと、八錢でよろしいと云ふので、十錢銀貨一つ出してやるとびつくりして後とじさりして、どうぞお錢を下さいと云ふので、また皆の巾着をあさつて、銅貨を八錢渡したことを覺えて居ります。それから藤澤の鵠沼が開けぬ前やはり生徒を連れて百姓家に過しましたが、其處の蠶室に丁度蠶が孵つた計りであつたので、生徒等は毎日桑摘みの手傳ひをして、四十日居る間に、美事な繭になつて、明日賣らうといふ時、此處を辭したことも忘られない一つです。

△島國根性を廢するによい

かやうに人の往かぬ山間や海岸を撰びましたが、今日ではこれ等の土地が何れも有名な避暑地になつて、人が雜沓致します。然しなほ土地は廣いのですから、閑靜な避暑地はいくらも見付ける事が出來やうと思ひます。靜かな處に居を移すのは得な事で、仕事をするにしても集中して、二倍捗取ります。なほ自然の天地と友になる事が出來るので、我れ我れに潛む島國根性を廢すには、この上ないよい境遇と思はれ、私は益々旅行や轉地を奬勵したいと思ひます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

桑港世界博覧會と基督教婦人

在桑港　小室篤次

(其一)婦人矯風會

婦人新報讀者諸兄姉、久しぶりにて、誌上に相見ゆるを、光榮と存候。矢島會頭をはじめ、委員諸姉の、御活動振、誌上にて、承及、欣躍まかりあり候。桑港大博の最中、世界的大博覧會を、見聞いたし、婦人矯風會出品に關する、一二の事柄申上候て、御參考に供し候。

婦人矯風會の陳列場は、教育館内の、目貫の場所に候。統計あり、掛圖あり、書籍あり、雜書あり、模形あり、禁酒矯風に關する者、幾千百中に、小生の注目いたし候。

第一ハ、**禁烟鐘**に候。此鐘は、御存知の如く、ウエスト孃の記念にとて、故津田仙翁が、鑄造せしめて、矯風會本部へ寄贈せられたるもの、此鐘の銘は、左の如くに候。

「此鐘は、もと、煙草の奴隷となり、今は自由の身となりたる、一千有餘の人々の、きせるを地金として、一千八百九十二年十二月十四日、東京に於て、津田仙の、鑄造せしめたるものなり。鑄工藤原利定造」

とこれあり候。

此禁煙鐘の事から、出品監督プラオン孃と、時ならぬ、談論の花は咲き、遂に、此所に日本の陳列品は皆無なれば、何か出品してはくれずやとの、火急な註文幸、小生の手元に、矢島會頭安藤會長及津田翁の、寫眞有之候まゝ、これに、廢娼大演説會、婦人矯風會年會、日本における禁酒運動の先達、矯風會主催の慈善旅行、婦人新報等を、一括して、差出候處、大喜にて、早速陳列いたしくれ候。日本の婦人矯風會や、禁酒會の爲め、少しの、御奉公が出來候樣の心地いたし候。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に候。五十餘ケ國の、國民を代表せるものにて、七百五十萬人の、署名ありて、長さは、一哩半に達し候もの、此請願書を見るものは、壁上、ウヰラード孃の寫眞に對して、敬意を表するを、餘儀なくせられ候。孃一人の、第一の署名は、七十五萬人の、心を動かし、五十の國民ヶ動かし候次第に候。卷物は、二尺位の幅にて、馬に一駄程有之候。

第二は禁酒請願書

（前掲）

第三は酒類の廣告を拒絶せる雜誌

數十種の陳列に候。流石は、米國に候。堂々たる、米國有數の月刊雜誌が、酒類飲料の廣告を、拒絶せるが如きは、待合政略をさへ、必要する、吾が國とは、殘念ながら、比較になり申さず候。其雜誌の、重なるものは、リテラリー、ダイジエスト。グードハウスキーピング。レヴユーオヴレヴユース。アウトルック。ファームジョーナル。ハアパース。ウオイルドウオイクス。スクラップ等に有之候。

第四は禁酒雜誌

に候。月刊週刊季刊、其數極めて多く、卓上に在りたるものだけにても、三十餘有之候。統計は四十何種も有之候。プロヒビションと、アンチサルーンと、矯風會の、勢力を集中して、三面合擊、此魔軍に對抗いたし候は快心の事に候。

（其二）基督教女子青年會

河合女史御渡米以來、をり／＼お目に懸り、日本の近狀も承り及候。大博內における、Y.M.の動きは、實に目覺しきものに候。會館は、博覽會正門に近く、四萬弗の建物、每日五千人の來訪者ありと云ふに至りては、驚嘆の外無之、食堂に働く者だけの、給料のみにても、二萬五千弗なりと聞ては、吾も人も、更らに一驚を喫する次第に候。乍去、四十ケ國を網羅して、七十二萬七千人の會員を有し米國だけにても、三十四

萬二千三百五人の會員を有する、大團體の事業にしては、さもあるべき事に候。左に記し候は、一ヶ月間の事業の成績の概要に候。

奉公口の周旋　四四

應急看護を受けたるもの　六七

休息所に收容せるもの　一五六〇

大博場使用少女の訪問　一二五二

社交的集會　一八

（附言先頃移民總監の參り候時小生等拾數名の日本人を招き總監を主賓として晩餐の御馳走有之候日米親善の爲に、極めて有利なる集會に有之候、これも一八回の集會の一に候）

教會へ紹介せる少女　一五五

日曜五時の聖集會出席者　一二七〇

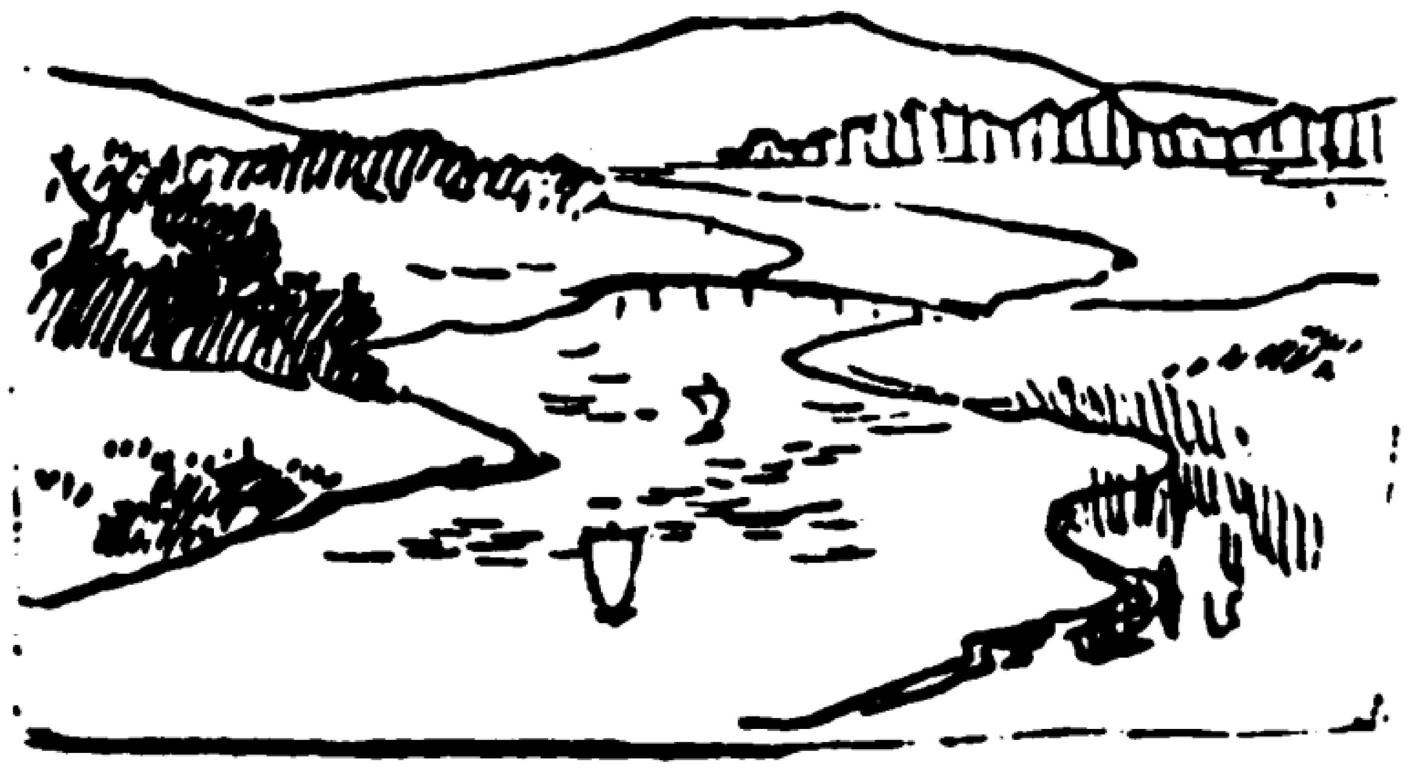
來訪者名簿へ記名せる

米國各洲　四〇

諸外國　七

毎日カヒテリヤにて食事する者　二二〇〇

此外、講堂にて、活動寫眞を見せ、讀書室案内所、化粧室、痒い所へ、手の屆き候程に候。大博使用人の婦女子の爲には、簿記速記、タイプライター等の速成、商科の夜學校を、本會が經營いたしをり候。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

基督は我等が途

杉山重義

イエス彼に曰けるは、我は途なり、眞なり、生命なり、人も我に由ざれば父の所に往こと能はず――約翰傳十四章六節

△基督に屬ける所以

從來歐米に於ては基督教以外の宗教は、惡魔の發明かの如く異端視して居つたものが、近來東西の交通の頻繁なるにつれて、東洋にも深遠なる思想を含む宗教あることを知るに至りました。元來宗教は人間が現在に滿足せず、何處にか向つて向上せんとする心の渴望に應ずるもので、何れの宗教にも多少の眞理がないとは申されませぬ。然し私共がこれ等宗教の中より基督教を特に選ぶに就ては、何等かの標準がなくてはなりませぬ。佛教の如きは高遠の哲學思想を含むもので、この不安窮りなき世を解脫して、平靜の境遇に達することを教へてあります。神道の如きは、人間は清潔を好む所から、凡ての不淨より脫出する道を教へてあります。然しながらこれ等は少數の學者が獨り理解するもの、若しくは人間の渴望の或る一部分を滿足せしむるに過ぎませぬ。これに反して基督教はキリスト在世の當時から、女子供の宗教、稅吏、罪ある人の教へと輕蔑せられましたが、この言葉は同時に基督教に對する賞讃の辭と見ることが出來ます。基督教は單に學者や賢者の專有に止まらず、女であらうが、幼兒であらうが、罪人であらうが、苟も人間社會の正當なる要求には應じられるものであり、從つて一方に偏することなき圓滿完全の教へであります。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△肉化したる主義

然らば私共の渇望に應ずる基督教の主體は何でありませうか。鰯の頭も信心柄と云ふから、何んでも私共の心が滿足し、これから慰安を得れば足れりとしませうか。否其の渇望に應ずるには相當の價値が無ければなりませぬ。故に宗教には人間の渇望と主體との兩極があつて初めて完全な結果を生ずるものであることは恰も電氣に陰陽の兩極があつて、初めて働きが現れる樣なのであります。扨基督教の他の宗教に勝れて居る所は、私共の心の要求を捉らへて、これを滿足せしめ安心を與へる丈けではない。キリストが「我は途なり眞なり、生命なり」と云はれた如く、其の主體は冷やかなる眞理ではなく、途であり、眞であり、活潑な生命であります。人世の辛酸を味ひ初めて、人は自力ではいかぬといふ事を知り、種々の迷ひを生ずる、その悟りを開いても、その彼岸に達する途が入用であります。基督教が意志の宗教であると云はれる如く、其處に何等か意志を強うする力があるのは、何故でありませうか「我は途なり、眞なり、生命なり」と云はれた所謂肉化したる主義のある事が尊い所であります。それ故丸いものに角い蓋をするものではなく、丁度人間の要求に應じられるものであります。孔子は世界の聖人であります。然しキリストのやうに「我は途なり、眞なり、生命なり」と云ふ力はない。ルナンが嘗て評して云ふには「かのソクラテスの死に樣が聖人であるならば、キリストの十字架の死は實に神の子でなくてはならぬ、聖人と神の子の與へる感化には大なる相違がある」と。

△平和の源なる基督

人は眞理に動かされることは多いが、生きて居る眞理ならば、なほ一層力強く動かされる。キリストのお言葉の中には比喩や反語が多いが「我々が死して初めて蘇る」といふ意味は、罪の身が死んで、キリストの生きたる眞理に觸れて蘇るので、その反語の意味は明

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

險であります。私共は親の感化を受け、危い淵に臨んでも、親が在してこれを見給ふならばといふ一念が閃く時、忽ち本心に歸ります。これは親の肉體は死しても、親はなほ靈となつて生きて居るのであります。聖人賢人の感化も亦これと同樣であります。然しこれ等の感化力をキリストのそれに比することが出來ませうか。世界の歷史を繙くに、進步の中心は實にキリストの生命に外なりませぬ。勿論希臘や羅馬に哲學、文學、美術の淵源する所は尠くないとは云へ、エス、キリストを持てる故に、あらゆる方面の發展を遂ぐることが出來たと申さねばなりませぬ、ポーロが羅馬書に「噫われ困苦人なる哉」とて、理想の高くなるに連れて、わが身の低きを慨嘆して居りますが、その高遠なる理想に手をひいて導くキリストあるが故に神に感謝すと云ふて居ります通り、基督教は高い行はれぬ眞理に憧憬する丈けならば、救ひではありませぬ。然るにキリストを通れば、理想に達する事が出來る、所謂キリストが途であります。キリストによりて生れ變れば如何なる者も神の子たる特權があります。この途を與へられて居る所が、基督教の他の宗教に異つて、非常に力ある所であります。最近西洋の雜誌を見ますと、ロード、アルバリー卿が、數年前倫敦で各人種の會合の開かれた事を評してありましたが、此の會に於て佛蘭西の有名なる化學者が、世界人種の憎惡偏癖を取り去ることは宗教では出來ない、道德上の觀念と學問とである。科學ならば顏色カ違はうが、宗教が異らうが、學問であるから、世界共通の眞理の前に、何の異論を挾むことは出來ないと云つて居るが、かやうな冷やかな理屈丈けで、人種的の偏見を打破することが出來るものではないと評された。アルバリー卿の所論は確かに其の裏に人種的偏見を打破するものは宗教の外ないと云ふことになります。天地の神は只一つであり、五洲の人間は一つ神の子と云ふ觀念によらなければ、人間の感情を冷たい科學によつて如何ともすることが出來ませぬ。キリストの生命が入り、人間の得手勝手が死して、人種間の競爭、區々たる感情が取り去られなけ

れば、到底世界の人類が手を握つて兄弟姉妹と云ふ境界には達することが出來ません。基督教の精神が入れば、今日の歐洲戰亂の如きは、起さうとて起きる筈はなかつたのであります。

△基督あるが故に感謝す

今日日本の心ある人々は政治にしろ、教育、宗教、實業にしろ、この儘では案じられると云ふ。愛する日本の前途の危機をのぞんで、さらばと云つて自分の何物をも捨てゝこの難に赴くかと云ふのにさうではなく却つて亡國の助けをして居るのはなぜでありませうか政治家は國是を計るよりも寧ろ權力の爭奪に熱中し、商人は自分の利益を思つて、世の益を省みず、教育家、宗教家は唯名譽心に驅られて、事を營むに過ませぬ。これではいかぬ、何とかしてこの腐敗せる世を救はねばならぬと云ふが、これに赴く力を捉まへぬのが、日本否世界の通弊であります。さりながら「我は途なり眞なり、生命なり」とかゝる狀態に陷れる世をも救ふキリストあるが故に感謝します。この際たとひ哲學上深遠な理想を含む丈けでは力にならぬ、かく〳〵せよと云ふ事を教へらるゝ丈けでも、これに赴く力がないこの不完全な人間の中に入つて、眞に力となり、生命となつて世を救ふことが出來るものでなければなりませぬ。基督教が決して戰爭を教へるものではないが、今日獨逸が殆ど世界を敵として戰つて居るにも拘らず餘り見苦しい敗北を取らぬには何か理由がありませう一方また英國が常備兵もないのに軍が起ればズン〳〵兵を補充して行き、海軍も獨逸の潛航艇の爲に蒙ふ損害を償つても自若として居るのは、何か生きたものを捉へて居るからではありますまいか。キリストの力によつて生きたる國民には、戰ひの日にも何處か違つた處が現れるのは當然の事であります。今後極東の日本が檜舞臺に後れを取らぬやうにするには、國家とか、社會とか云ふ團體ではない、國民の一人々々が「われは途なり、眞なり、生命なり」といふ基督の道を辿つて向上して行かねばならぬ。

肩身の狹い思ひ

高等師範學校教授　二階堂とく子

△新嘉坡から同船した婦人

今同英國から歸途新嘉坡から數十人の日本婦人が乘り込んで參りました。その中三人は一等船客で、何れもきらびやかな洋裝して居りました。二等船客の數人は丁度內地の貴婦人と云つた樣に、蟬の羽衣のやうな夏裝束に、ダイヤの指輪や金の腕輪で、光り輝かして居りました。その他の二十人位は三等でありました。これ等は何れも申さずとも御察しがつきませうが、新嘉坡で卑しい業を營んで居る婦人達です。一等に乘り込んだ三人の中二人は所謂旦那に連れられて居りましたが、これ等は金の威光で船中の者を屈服させて居りました。二等に乘り込んだ者も同じく大威張りで居りましたが、それでも私共の所に來ては、「誠にお耻かしい事です」と云つて身の上話をするのでした。

△誘拐された果

聞く處によると彼れ等の多くは、初めはかやうな事にならうとは、露知らずに、狡猾な男に誘拐されて彼の地に渡り、命にも換へ難き操を弄ばされた末、浮きつ沈みつ今日に至つたので、次第に廉耻心も薄らいで、主人が英蘭土や、蘇蘭土に休暇の爲めに歸る間、自分共は暇を貰つて、身に綺羅を着け、故郷に錦を飾る積りで歸途についた者で、唱歌一つも歌へず、勿論英語なども話せぬ連中であります處を見ると、彼れ等は唯動物慾の奴隷になつて過して居るのであります。これを見て同じ日本婦人たる私共の肩身の狹さ、心苦しさは御想像の外であります。私は彼れ等に「あなた

方は國に歸つて、若い娘等にあなた方のやうになる事を勸めるのか」と尋ねますと、「否、決して勸めは致しませんが、若し爲りたいと云ふ者があれば、連れて來ます」と申します。この樣子を何も知らぬ田舍娘が見て羨み、また彼れ等の後を追つて、次第に海外に出稼ぎしたら、それこそ大變である。何とかしてこれ等を根絶する方法を講じたいものと願はれました。

△婦人の純潔なる愛情

私がエデンバラに婦人參政權論者の講演會に出席したことがありますが、白髮聾者の一婦人は、手に原稿を持つて熱心に演説を致しました。其の演題は「如何にして男子の動物性を除き得るか」と申すのでありましたが、「男子が動物性を發揮する時は、萬事盲目の狀態で、之れに向つて劍を出せば、愈よ哮り狂ふのである。唯婦人の純潔なる愛情によつてこれを聖化し向上せしむる一途あるのみである」といふ趣意でありました。

△聾者婦人の活動

これは餘談に亙りますが、この婦人に就て非常に感じた事は、聾者であり、しかも白髮であつても、なほ主義の爲めに奮闘して居ることであります。日本などですと、身體に少しでも故障のある者、况して婦人に於ては、「私は不具ですから」とて、とかく卑下して世の中から引き込み勝ちになる者ですが、英國の人には決してさやうな事はなく、役立つ限りは働らきたいと申すのが、一般の心掛けらしく見えます。そして其の婦人が何故原稿演説をしたかと申すと、話しながら聽衆を見ると、とかく興奮して、過激な事を申し度くなりますが、云ふ程の事には凡て責任を負はうと思ふので、かやうに書いて參つたと申しましたが、其の眞摯な態度は感ずるに餘りあります。

△日本の社會廓淸の急務

私は度々英國で日本人の或る人の行ひを見て、故鄕

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に居る妻がこれを知つたら、母人がこれを見たならばと暗涙に咽んだことがありますが外國に居るからこそ一層目立つやうなもの丶、國内にあつても幾多の妻や母を精神的に殺して居る者があります。今は男女に限らず節操に就て、大に覺醒せねばならぬ時であります。殊に日本のやうに公娼が營まれて居ることも敢へて不思議と思はぬやうな習慣の地にあつては、社會を廓清するのは、一層の骨折りでありませうが、また實に一と度海外に足を踏み出すに及んでは、一層わが社會廓清の急務であることを強く感ずるのであります。

家庭用婦人
仕事衣作り方

加藤咲子

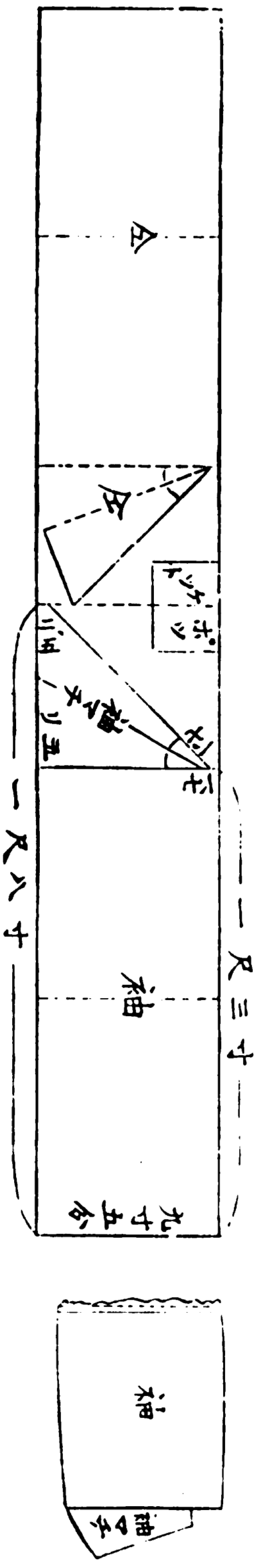
一、用布　幅九寸五分の木綿絣慶縞一丈三尺五寸

二、裁方圖解及積り方

積り方

18.×2+33.×3=135.　一丈三尺五寸

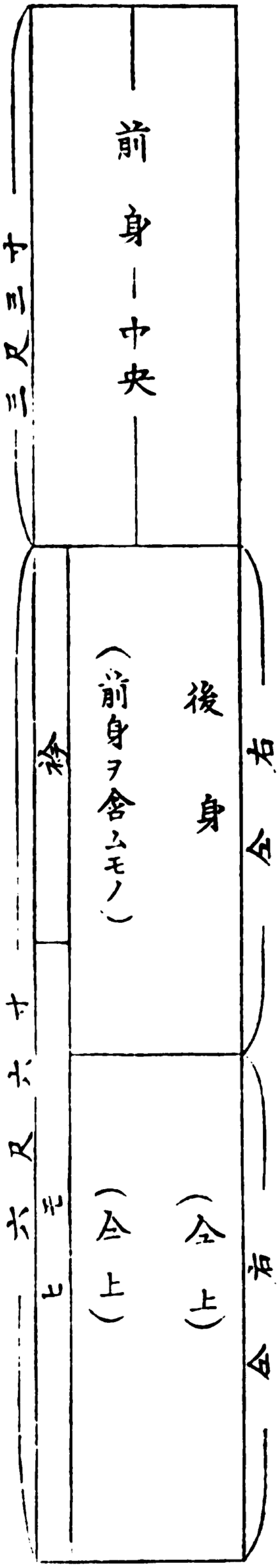
三、袖の縫方　先づ袖帛の眞直なる裁目と、襠の斜の裁目とを重ね眞直の方を一分五厘ずらして斜の方にて



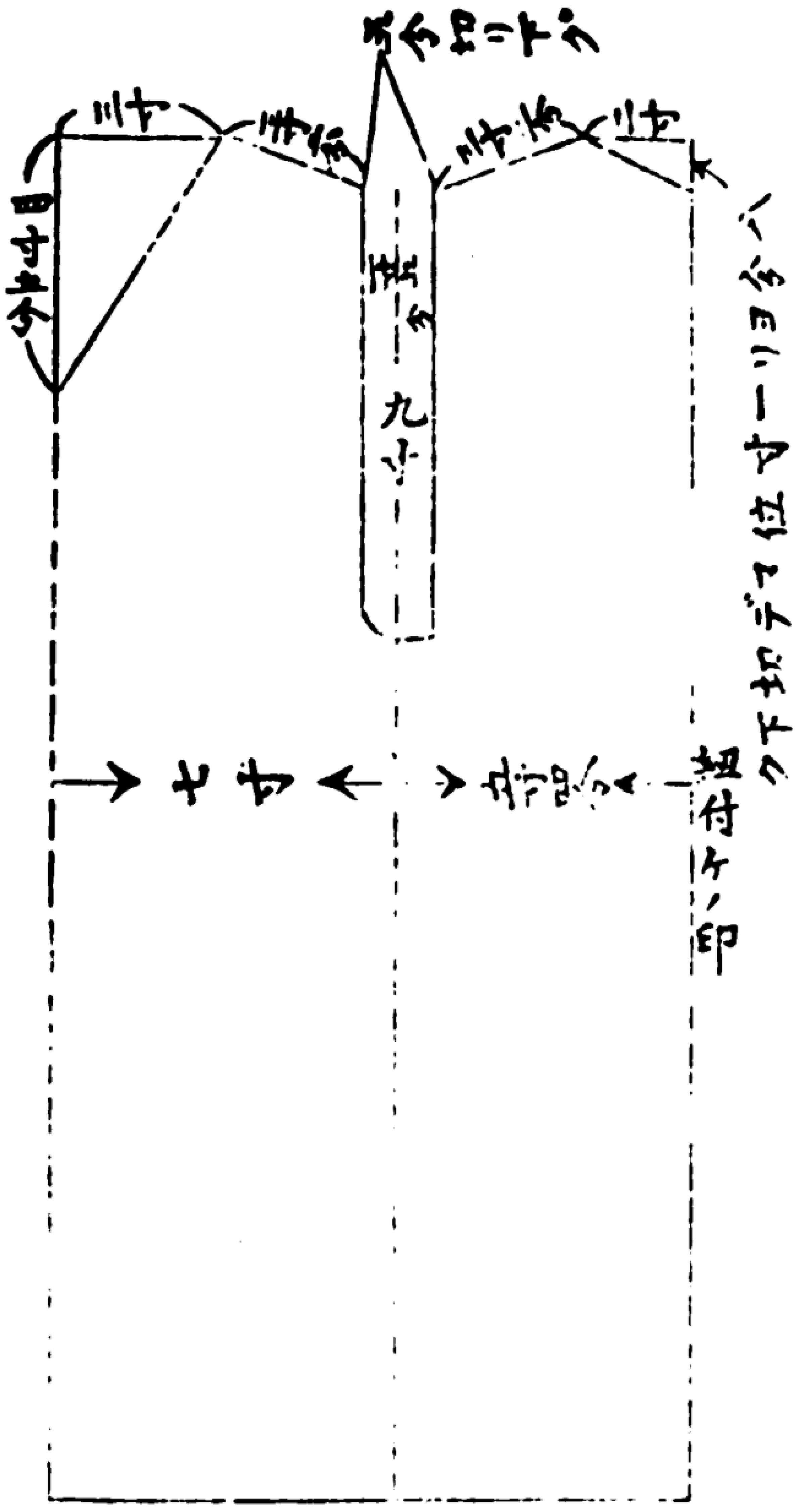
第一圖

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第二圖



第三圖



くるみ、其端を縫ひ折目を眞直の方に返して表よりミシンをかく。此縫目ある方を内袖とす。(同袖をつくらぬやう注意すること)次に袖口下の明きを三つ折桁になしたる後、袖口の端より五分裏に折りて紐の通り得るやう表よりミシンを懸け、第二圖の如く丸味をつけて切り下げ置く。

四、身頃縫方　左右後身を含みたる帛を、前身の中央になる帛に接ぎ合せ、折目は後身の方に返して表よりミシンをかく。次に裾口を七分裏の方に折返し、其裁目の端を更に二分折込みて表よりミシンにて押へ、第四圖の如く衿をV形に、肩は五分切り下げ、又袖附を仕立上り八寸五分になるやうに裁ち切り、下方は褄形にかたちづくりおく。かくて後前身の肩の裁目を後身の肩の裁目にてくるみ、其端をぬひて表よりミシンを懸く。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

五、衿の附け方　衿帛を身頃の衿周の裏より縫附け、折目を衿の方に返し、幅五分の仕立上りにて表より成べく端にミシンをかく。衿帛の左右の餘りは衿續きの紐とす。(初めに五六寸程餘帛出づるやうに衿を裁ちおく)次にV形に形づくるべき前身正面及び左右の肩共に裏よりミシンにてつまみ縫をなし、其縫目を兩方に開きて綴ら置く。

六、袖の附け方、袖の山と身頃の山とを重ね、身頃の方をくるみ、其端をぬひ、表よりミシンをかく。

七、ポッケットの附け方　ポッケット口の表に見返を縫つけ、ポッケットの周りを一分五厘中に折込み置きて、袖附の下端より五寸許下りたる前身の中央より左へ四寸程のところに縫つく。

八、紐の附方　共帛丈八寸許を第四圖の如く後衿肩より一尺程下りたる後身の端に、強く小さき當帛して確と縫つく。

【附言】以上は最も幅を充分に見積りたる裁方に仕立たるなり。身體の細き方々には布帛普通幅二幅より紐をとるか、或は紐は別にテイプにてなせば充分なり。

夏向の三品料理

松宮信子

▲鉢肴　鮎の鹽燒附合葡萄羹、鮎を水洗ひして鹽を輕ろく撒り、十五分間程してから、ざつと水にて洗ひ、金串にさし、また鹽をぱら／＼と撒り、ヒレと尾に鹽をつけてよく開らく樣にし、強く起つた炭火にかけ、兩面を燒き串をまはしながらぬき、皿につける葡萄羹は寒天一本を三四時間水につけ、水二合五勺入れてよく煮る。寒天のとけた時、砂糖大匙に二杯ど鹽小匙半杯を加へて掻き廻しながら煮る。次に葡萄液五勺ほどを加へて能く掻き交せ、火より下ろし、別に玉子の白味二個の能く／＼泡立てしものを加へ、手早くませ、流し箱にながし、冷えて固まつた時拔き出し、

長方形にきりて附け合す。

▲酢の物　鶏肉と玉菜の舟形胡瓜盛、黄味酢、鶏肉はさゝみのところを筋をぬき蒸してむしり置き、胡瓜の二寸五分位のものを舟形に切り、種を抜き、塩をふりて少時間置き、酢につけて置く。玉菜は線に切り塩にてもみ、水洗ひし、酢につけ、かろくしぼり、舟形胡瓜のなかにもりつけ、其上に鶏肉をのせ、黄味酢をかける、黄味酢は鰹節のだし、茶呑茶碗一ぱい半、みりん半杯、三盃砂糖半杯、塩小匙に半杯を合せ、中火にかけ、煮たつた時片栗粉小さち三杯の水どきしたものを流しこみ、鍋をおろし、酢半杯を加へ、少しくさめし時玉子の黄味二個を加へて湯せんにし、ポッテりと落ちる位のかたさにする。

▲茶碗盛　よせ玉子、吉野海老、三葉、清露、玉子二個鰹節煮出しの冷ましたもの玉子の量の二倍、みりん小匙二杯、塩少しをいれてよく混せ合せ、丼鉢に入て蒸し、凡そ十分間位にて蒸せる。次に三葉は糸にてゆはへ、熱湯にいれ、直ちに水にあげ置く。車海老の頭をちぎり、皮を剥き、縦に二つに割り、塩をふり粉にした葛の中にいれてまぶし、沸立つた湯の中に入れて湯煮し、以上蒸玉子を金杓子で大きく一掬ひに掬て茶碗に入れ、三ッ葉は一寸二三分位の長さにきりてざつと搾り、海老と共にもりつけて清露を注ぎいれる。

南國の家族

メキシコにて　初子（三年五ヶ月）

おばあ様

をば様

今朝も啓一(一年二ヶ月)が暗い中から起きて、私の寝臺をドン〳〵叩いたり、蚊帳の中をのぞき込んで顔を撫でたりして仕方がありませんから、私も目をこすり〳〵起きました。朝の父さんの勉强がすむと、父さんは店へいつもの通り行きました。母さんは牛乳の殺菌と朝御飯の支度に忙しうございました。啓一はヨチヨチ何處でも歩き廻つて、大さう危いので、私は母さんに云付られて、母さんの手がすく迄、お守りをして居ました。私も啓一は大好きですけれど、私の手遊箱を時々かき廻す事は、本統に困ります。それで時々喧嘩致します。それでも私達は大へん仲がよいのです。何かで私が泣いたりして居ると、啓一も悲しがつて泣きます。そして兩方の腕をひろげて、私の所へおだつこに來て、私の手でも顔でも手當り次第にキッスしてその上かみ付くから困ります。

○

牛乳の御用が濟むと母さんが私に冷水摩擦して呉れました。私は獨りで着物を着替へる事が出來ます。着物の後のボタン丈は人にして貰ひます。おかつぱさんの髪を自分でとかして、それから毎朝の様に私のバシニヤ(便器)を片付けました。あとで母さんがきれいにして下さるのです。

昨夜からのお約束のプラタナ(バナヽの一種)の燒いたのを母さんに貰つて、庭の縁臺の上に座つて食べ

て居ました。啓一は母さんにおとなしく冷水摩擦をして貰つて居ました。父さんが店からニコ〳〵して歸つて來ました。アニタに伯母さんから好い物が來たよつて云ひました。綺麗な繪の澤山ある小供の本が二冊出ました。私は大へん嬉しうございます。父さんの目には一パイ涙がたまつて居ました。啓一が私の本を欲しがつて仕方がありませんから、父さんが私に朝のお祈りをして下さる間も、シツカリ兩手で胸に押へ付けて持つて居ました。破かない樣に大切に見て、よく見てしまつたらお友達に貸してお上げなさいつて母さんが云ひました。伯母さん私は大へん大切に見て居ます。そして見てしまつたら皆に見せて上げます。

○

私は小供の友の驢馬の口繪と、驢馬が草をたべる手遊になる繪とが、一ばん面白いと思ひます。驢馬は本統によい獸です。うちのプロ(驢馬)は、毎朝牧場から私や啓一の大好きな〳〵お乳を運んで來て呉れます。ヤー、プロが來た、プロが來た、父さんプロに乘りませうよつて、私が大きい聲で呼ぶと、啓一迄負けずに出て來ます。父さんと私と啓一と三人で乘つて、庭のヤイチの木の傍を通り乍ら、手早く小枝を折つて、一寸とプロのお尻をうちますと、ドン〳〵ドン〳〵お庭中走り廻ります。サーモーよし、お下りなさいつて父さんが云ふと、モー一廻りつて私云ひますの。モウ一廻り濟んで、サーモーよしつて父さんが云ふと、又もう一廻りつて私がたのみます。すると母さんがお臺所から父さんは朝しか勉強なさる時はないのだから、皆があんまり父さんの時をとつてはいけませんよつて云ひますから、私はすぐ下りますけれど、啓一はアンアンつて大變泣きますの、もつと澤山〳〵乘つて居たいつて云ふ代りに泣くのですよ。

○

私達がプロに乘廻つて居る間、牧場からプロについて來たマヌエル小僧は、お勝手で母さんに御馳走して貰つて居ます。マヌエルは私より首丈位大きい小僧ですけれど、朝は暗い中からマヌエルの伯父さんの乳搾

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りを手傳ひ、晝間は又野仕事を手傳つたりして、それがすむと、赤坊の弟をお守りして、マヌエルの母さんの手傳ひをします。マヌエルの父さんは兵隊につれて行かれて、死だか生きてるか明りません。マヌエルのお父さんと一緒につれて行かれた人で、逃げて歸つて來た人の話では、マヌエルの父さんは戰爭で死んだつて云ふ事ですけれど、マヌエルの母さんは、今でも毎日待つて居ます。「どうしてマヌエルの親父が死んだなんて本統に思へませう、神樣がお許しになるなら、いまにきつと歸つて來ます。私はそう思ひます」つて泣いて居ましたつて。先日母さんがマヌエルにおやりつて、おさつのお菓子を私に渡しましたから、庭にポンヤリ立つて居たマヌエルにやりました。「有難うつてお云ひよ」つて母さんが云ひましたから「ドーモ有難う」つて私云ひました。そしてマヌエルは默つて居ましたら、傍に居た父さんも母さんも、外の人も大笑ひしました。マヌエルは本統に默りの小僧です。でもプロはよくマヌエルの云ふ事をきゝます。

○

私共のプロは本統に悧巧でよいプロです。前に村に戰爭がありそうになつて、私と母さんと啓一が山へ逃げて行つた時にも、プロは私達をのせたり、荷物をのせたりして一緒に行きました。此處の人は誰でも馬にのりますが、プロには決して乘りません。プロは見掛けが悧巧さうでないので、乘つても巾がきゝませんから、皆厭がります。プロに乘ると小供でもオヤ〳〵エス樣の樣だつて人が笑ひます。エス樣がまだ赤ン坊の時、惡い王樣がエス樣を殺さうとしたので、プロは赤坊のエス樣とお母樣のマリア樣をおのせ申し、お父樣がついて、埃及へお逃げになつたからだと母さんが云ひました。私共は馬を連れて行けば、途中で兵隊に行逢ひ次第取上げられて仕舞ひますから、プロに致しました。私共が山にかくれて居りました間にも、プロは度々お父さんからのお使ひになつて、食物たの、何か運んで來てくれました。或日私の手遊のバケツまでプロが持つて來て呉れた時には、母さんは泣いて居まし

た。そしてこんなに悧巧でも、外の人はブロは嫌ひですから、なほ都合が宜しうございます。一度店の小僧のクリスティノがブロにのつて、私共の逃げて行つて居た山の中へお使ひに來た途中で、兵隊に追ひかけられました。「止れッ、止れッ、その馬は俺によこせ」つて兵隊は云ひましたが、傍へ來て見たらブロだつたものですから「ナーンダ、ブロか」つて呆れ返つて、サッサと引返して行つて仕舞ひました。

○

朝飯に私は玉蜀黍をすつて拵へたメヽラとコヽア入りの牛乳と、挽肉を少しと、チーズと胡瓜を少したべました。以前にはパンのおいしいのだの、お米の粥だの朝飯にありましたけれども、三四ケ月前からお米や小麦粉は少しもなくなりました。啓一には母さんはユカと云ふ木の根から葛粉をとつて、それに玉子とお砂糖をませて、ボーロをこしらへて食べさせます。ビスケットなんか一片も何處にもありません。母さんの話では、今は世界中の人が皆難儀して居て、西洋の戦争してる國ではお乳がなくて、お腹がすいて泣き〳〵死んで仕舞ふかわゆ相な赤坊が澤山あるんですつて、私共の町でも今では小麦粉やお米もなく、その上毎日三度〳〵食べるトルチヤを拵らへる玉蜀黍が大變少いのですつて、それでも此處では飢え死ぬ人なんかありませんけれ共、以前には一錢に三本位の玉蜀黍が、今では五錢に三本の地方もあり、二本、一本で五錢の所もあります。それでも買へない所もありますと。北の方のオリサバと云ふ町なんかでは、死にさうになつた小供が食べたい〳〵つて泣くので、お母さんが見かねて玉蜀黍を持つて居る人の所を尋ねて行き、ドーカ私の大切な子供が死ぬ前に一口玉蜀黍のたべ物をやりたいお金はお望み通りあげますから、コップ一杯の玉蜀黍をお惠み下さいつて、その人の前にひざまづいて、神様を拜む樣に拜みましたと。私にはパンや御飯はありませんけれど、玉蜀黍を器械でひいて、母さんがいろんなお菓子でも、トルチアでも、メヽラでも拵らへてくれますし、父さんの牝牛からはお乳がとれますし、

母さんの牝鷄は毎日私と啓一が半熟にしたり、お菓子にしたりしてたべる卵をうみますから、ちつとも困る事はありません。馬鈴薯は澤山ありませんけれど、お祖母さんが日本から下すつた里芋が澤山に牧場にうゑて、ふえてありますから、時々とつて來てたべる事が出來ます。お腹がすいて死ぬ赤坊のお話を母さんに聞いた時、あんまり可愛想でしたから、私のお夕飯にとつて置いた牛乳を半分やりませうかつて母さんに云ひましたら、母さんがそれは大變い丶事だけれども、その赤坊の居るお國は大變遠くつて、お祖母さんの被居る所よりもつと遠くつて、その上今ではメキシコの國内も戰爭で、汽車が通らない樣な事なのだから、その赤坊にお乳を送つてやる事は出來ませんつて、でもそんなに遠くない所にもマヌエル小僧の樣に中々難儀して居る小供が澤山居ます。マヌエルなんかは母さんも伯父さんもあつて、稼いでいけるのだからまだ仕合せだけれ共、お父さんもお母さんもなくして、もつと難儀してる子供が澤山居るのですから、お前はしたいと思ふなら、いくらでもさう云ふ人達に、親切をする事が出來ますつて母さんが云ひました。

○

マヌエルの父さんは兵隊につれて行かれて仕舞ひましたが、その前に玉蜀黍の畑に種がまいてありました父さんの生き死も明らないので、お母さんが生れたての赤坊を抱いて、毎日その畑を見廻りに行きます。玉蜀黍がお母さんの身丈より高くのびましたが、トウトウお父さんは歸りません。そして家にあつた玉蜀黍はもう食べ盡して仕舞ひましたが、まだ畑のは實がいりません。玉蜀黍と玉蜀黍のさくの間に、父さんが種を蒔いて行つた南瓜が澤山に出來ましたので、玉蜀黍の收穫になる迄は、お母さんもマヌエルも、この南瓜を鹽煮にしたのばかり食べて居ましたと。

玉蜀黍の收穫時が來ました。澤山の玉蜀黍が出來ましたが、此の次からはもう玉蜀黍の畑をつくる父さんはマヌエルにはないのです。（五月十二日認む）

歸京して

安中花子

京都の大會、静岡の大會、前橋の大會と、元より外には用事のために旅に出たといふ覺えは持たぬ私、甲斐に三月の旅寢の夢を、折々は都戀しの思ひに破られたと申ましたとて、まさかに頭から「弱蟲」と御笑ひ遊ばす程情知らぬ皆樣でも御座いますまい。

都へ歸つた其翌日、かねていたづらで名高いそれがしの君と電車に乘り合はせますと、いきなり「日本の電車は如何」と問かけられましたには一寸驚きましたが、漸く「中々宜しう御座いますね」と返答すれば、例の君すかさず「氣持はどちらがよう御座います」と。「さあ、それはこちらの方がどうしても安心ですね」とこの處私一代の傑作といふ感じが致しました。馬一匹の機嫌の具合ではどうなるか知れぬ地方の馬車と比べましたら、確かにこちらの方が安心には違ひ御座いませぬ。

一向に風采の揚らぬ洋行歸りを、隣の人はけゞんさうに眺めて居りました。

あちらへ參りましたのは櫻散り初めた卯月で御座いました。其處は私の生れ故郷では御座いますれど、何の記憶も無い頃に東都へ出た身は、家族在らぬふる里をなつかしき地とは中々に思へませんでした。花は昔の香ににほうて居たので御座いませうが、ステーションに下りた時「馴れぬふる里」といふパラドックスがしきりに胸に湧いて來ました。

市中の高地に建てられてある校舍の門を入りました刹那「山の上の城」といふ言葉が美しい暗示を與へて呉れました。

校舍のアチラ、コチラを見物して校堂まで參りました時、先づミスウヰラードと矢島先生の御寫眞が揭げてあるのが目に入りました。打たれた樣に立ち止つて仕舞うた私の後で、案内して下さつた西洋の方も急に默つて仕舞ひました。ほんとうに嬉し涙がこぼれまし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た、其處へ行つて最初に見た「知つた方」は矢島先生だつたので御座います。
新學期の希望に滿ちたかんばせ、美しく勇みに勇んで歸つて來た生徒達は、卯月九日の眞晝下りを、靜々と「新しい先生」の處へ「御あいさつ」に來る。「いらつしやいませ」と障子の外の人に返事する度に、胸がドキッと致しました。それは未だ「先生」といふ事に馴れなかつたからで御座います。
次の日の正午、食堂は殆ど定員丈けになりました。チリント舍監の先生のテーブルから鈴の音がすると皆食前の感謝のために頭を下げる。張りのある氣持の善い聲がどこかのテーブルから聞える。そして矯風事業に神の御祝福のいよ〱増し加へられん事も祈られたまた私の目には涙が……同じ心の人々が同じ時に同じ事を求める。私は恐ろしい程にさういふ祈の力を感ずる者で御座います。
其正午から今まで私は幸福に甲斐の國で働いて參りました。(大正四、七、一七)

編輯室より

エー、エム、

○本年のお暑さはまた格別です、風通しのいゝ處でさへ暑氣に堪へられんのに事務所の二階などゝ申したらやきつくやうな暑さです。然し皆は大元氣に働いて居ります。何しろ郵便發送物の多い事、前のポストに集めに來ます脚夫にも氣の毒なやうです。
○會頭は非常なお元氣です。今日は八時頃から十二時すぎまで麹町區長やら警察署長の御訪問に若い者なマアといはせておいでになります。先日も春から依頼されて居るものは斯う云ふ暑い時に靜かに書きませうとて雄筆をお奮ひになりました。お眼鏡なしです。
○夜學の爲にオルガンをと祈つて居つた願は聞き入れられまして、誠に音のいゝオルガンを與へられ、感謝して居ります。「いふ勿れ」とのお約束のもとにやさしい夫人から頂いたのでありますo諸姉は其名を知りたくは御思召しになりますまい。只其音をきく事に感謝して居ます。
○會頭は此夏は丹後の峰山へ御避暑になります同志社女學校出身の方で、新報讀者谷口ちゑ子姉の處へです。フト事務所に御出になり、先生とお話しの結果、靜かに働く爲に一月を山陰の小市にお過しになる事になつたのであります やがて白紙の群の誕生を見るでせう。
○忙しない電車の行きかふ間から御訪問の客がたえる間とてはありません。決議文に關して世間が斯くまで興味を持ち、各其意見を新聞雜誌に記載さるゝ事を喜んでをります。中にはわざわざ有益な方法につき忠告に御出下さる方もありシッカリヤレと敎へて下さる方もあります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はたらき

婦人ホームの爲の
慈善大音樂會

守屋東子

どうしても婦人ホームの必要はせまつて來ました。斯う毎日〳〵身の上相談の方が來訪され、會頭初め藤井さんにしろ私如きものまでが、其御相手をせねばならぬからには、是非とも少し荒仕事のやうではあるがまとまつた金子を作り、其家を設けなければと皆さんとも相談して、音樂會を開き、公表する事にきめました。女學館の大山たま子姉や學習院の森本縫子姉はかねてから同情して、私共の仕事の手傳をしやうからといふ事でしたので、早速お二人に願ふてペッオールト夫人に會の趣意から音樂會開催の目的をお話しいたしました。非常に親切で、また女中難や家事の苦痛をわきまへて居らるゝべ夫人は、一も二もなく引きうけ下さつたのです。御自分のお弟子の誰彼と名を指し、其場で立派な順序書は作製されてしまひました。其後の交渉やまた總ての御骨折は深く〳〵感謝いたして居ります。

斯うして美しい同情から出演して下さる演奏會は六月二十六日午後二時上野の音樂學校講堂で開かれました。昨日までの雨は名殘りなく晴れ、涼しい風さへ吹くのです。どんなに喜びましたでせう。キシル自働車の音に戸の開かるゝ、中より大山公爵夫人、三井夫人など、會頭の御手紙認めて入場券を御求め願ふた御夫人方は、殆んどもれなく御來會下さいました。

東京の婦人界が戰爭と白耳義との爲に、此春から少なからぬ負擔をして、かなり行きつまつてゐる然も暑い時の催しで御座いますので、どの位心づかひをいたしましたでせう。然し凡て豫想外の成功の内に三百圓の純益を預金し得た事は、唯々感謝の外有ません。此度の運動につき各新聞社の同情ある記事の記載は何よりも多大なる助けでありました。

一般の音樂會として見ても順序書の美事な點は認め

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

られました上に、世にうたはれぬ隠れたる音樂者を御紹介することの出來たのはまたうれしい事でありました。大山たま子姉の「主よ祈らん」の獨唱などは何人にも清い泪をやどさしめた事でありました。安村姉は小石川の青年部の一人で、白リボンをむね高くかざして演奏されました、水田姉にしてもまた長井エルザ孃にしても、すべて世の人に待ちのぞまれて、初めて演奏壇上に立たれたのでありました。

初めから終りまで　夫人は熱心に其愛する門弟等の人々の爲に、伴奏をなさいました。其精力家であることを感ぜずには居られませんでした。同夫人が最後に全力をそゝがれた魔の曲で美しい會合は花やかにおちついて終りをつげました。

當日の順序書をしるして演奏者の御同情を謝します。

曲目（第一部）

一、奏鳴樂……ベトーベン作曲（ピアノ）　安村禎子
二、「主よ祈らん」……モッアート作曲（歌）　大山たま子
三、古歌劇「ミトラネ」の咏嘆調…ロッシー作曲（歌）　水田光子
四、慰曲……リスト作曲
　　小夜樂……モスコウスキ作曲（ピアノ）　森本繼子
五、汝はやすみなり……シューバート作曲
　　ワルターノ賛歌……ワグナー作曲（歌）　アントリウス氏

休憩

（第二部）

一、「アフウスト」中シーベルの花摘唄…グーノ作曲（歌）　園部房子
二、ポロネース武勇……ショパン作曲（ピアノ）　ツエルベルグ氏
三、歌……アレー夫人
四、「埃及のヨセフ」二部合唱…メウール作曲
　　寛笛、二部合唱……モッアート作曲　長坂好子　アンドリウース氏
五、「白鳥の武士」エルザの夢…ワグナー作曲（歌）　長井エルザ孃
六、歌……グリーク作曲　ペツオート夫人
七、魔の火……ワグナー作曲
　　戯曲調……ショパン作曲　ペツオード夫人

御大典記念運動につき
市の要路を訪ふ

佐賀支部　和佐咲子

盛夏の候先以て會頭様を始め皆様には愈々御壯健を以て會務の爲めに御盡力下され有難く厚く感謝致します。偖て當支部にては近頃有力なる書記平山姉及び服部會計其他の重要なる會員の多數は相前後して他所へ榮轉なされ、加ふるに私は長く神經性流麻質斯に罹り

て療養致して居りし事とて、兎角會務の活動を怠りてお恥敷次第でございます。然るに此度本部より頂戴致候御大禮記念運動の趣意を好機會と、心の駒に鞭を加へ、先づ第一に本縣の石橋知事樣に當月六日朝登廳を御待申上げて、漸く御接見を頂き、わが矯風事業の主義を申上げました處、貴重なる御時限を以て御懇切に左の事項を御話し被下ました。「本官は常に廓清と云ふ雜誌に依て矯風會の活動振を略承知して居り、諸君の主義に對して尤も感心して居る。然し例の公娼全廢と云ふ一事は容易に實行する事は困難である。然も社界の缺點を補ふ爲めには、公娼を廢すると他に復た缺點を生ずる譯だから、公娼に代るに何にか外に其の缺點を滿す良法を備へねばならん。本官も豫て是等の事に就て研究した事もあるが、公娼は獨り日本のみでなく彼の英國の某都市の如きでも一層公娼の盛なるは、或は社會の缺點を補ふに存娼が必要かも知れぬ」との御意見を添られ、又た本年の御大典の祝會等にも、藝妓や酌婦を揚るなと云ふ事も大に考へものである、之を止めさするには宴席を西洋風でも變へて、後方からボーイがおしやくをすると云ふ樣にすれば兎も角も、從來日本膳式の宴席には是非酌人が入用であるとの御話でした。そこで私は「紳士貴人方の御宴席に於て、敢て醜業婦が侍べらなくとも、無垢なる少年を使つてお給仕をさせる樣には出來ませんか、殊更御酒を用ひなさる事を廢するならば、從つて藝酌婦の御用も不用なる道理ではございませんか」と申上げた處、知事樣のお答には「爲政者たる者の方針は、法律上の許可を與へて居る現存物は何でも保護するのが本分なる故に職權を以て止めさせると云ふ譯には行かぬが、然し可成注意をなすべし」との御言葉に次ぎて「本官は一體客を饗する事は大好であるが、藝妓を自宅に招きて賓客を待遇する事は最も嫌である、人に依ては藝妓を自宅に迄呼んで大騷をする向もあるが、それは絕對に惡い事だから、大に愼まねばならんと思ふ。併し矯風と云ふ事に就ては、モット日本の婦人を社交的の者に造り直す必要があると想ふ。現代の婦人には獨自ら

社界の正面に立て、社交に活動の出來る方に乏しい、例へば自分の家内なども家事有用の買物をするにも、悉く下女又は書生等に命じて居るのを改めて家内自身が店に往て買物をとゝのへる樣にと勸めると、家内の云ふには、そんな事が出來ません、他人より笑はれますとて、引込んで仕舞ふと云ふ風に出來て居る。良家の婦人にして社交界に活動して呉れる樣になると、自然宴席等にも藝者の必要が無くなるのだ」と有益なる御意見を拜聽致しました。御登廳第一番の御對談、清き夏の朝を妨ぐるも心なく、且は性來爭論を好まぬ私の心、別て『上に在て權を掌る者に凡て人々服ふべし……神の立たまふ所なればなり』と御懇切なる御意見を承りて退きましたが、夏の暑さの酷しく、此日にも自分の主義目的の爲めに身を獻げて働く者の上には必ず神樣の御佑の在るを覺えて、一入勇氣を奮つて次に警察署に出頭致し、德永署長樣にお目に懸り、本會の趣意書を捧上げて、同樣本年御擧行の大典に關し、會の目的を申上げました。すると署長樣は非常に喜んで御同意下さいました。其の話の裡に道德上美しき御意向も承りました「現時社會の腐敗學生男女の取締。風敎の頹廢にも實に困つて居る。不良少年學生等の無錢遊蕩等は成可く親の手元、又は學校の方で矯正して貰ひ度いが、近頃夫が出來ないとて遂に我々の職權に託さる事にまで成りましたが、靑年の一生を誤らせる事が心苦しくて說諭再三、常に親の手に引渡して居りますよ。遺憾ながら今日は止むを得ずに六人を檢事局へ送りました次第……近來世の中には種々なる會の組織を見聞しますが、あなた方の矯風事業杯有益で、又必要な働らきは有ません。併し警察者として貴會と共同して風敎矯正に盡すと云ふ事は無論不可能ですが、本職も出來る丈け聲援して上ます。大に働いて下されてよろしく、眞に御苦勞でございます」と有難い謝詞迄戴きて立歸りました。次は野口佐賀市長樣を御訪ね申度くと市役所に伺ひましたが、折節市長樣には上京して、不在なる事を承り、嘉村助役樣迄矯風事業の趣意書等を差上げ置きて、追て改めて市長

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

樣に御面接申上げる心得を述べて引取ました。引續き此の佐賀市に有力なる佐賀新聞、佐賀毎日新聞、西肥日報、佐賀日々新聞等の各社長樣をお訪ね致ました。蒲原記者（佐賀新聞）は一入吾矯風會の御大禮に對する主旨に贊成せられ、追つて彼の矯風の浪は其硯海に翻る時ある可しと信じます。既に其翌日の佐賀毎日紙には支部の私共が市內の要路の方々を遊說中云々の記事を掲げられて聲援されたので、一面には自然早くも反省を促したとの事です。爾後も引續いて公私諸學校の敎官及び市の婦人會の御人達に就て、每日本會の主旨を遊說に努め居りますのでござります。（後略）

看護婦招待會

小石川青年部

世にかくれて最も苦しき、而かも尊き事を職とせらる丶看護婦諸姉に對し、吾等の感謝の意を表はし、且つは日頃の勞を慰めたしと、去る七月三日午後一時小石川區高田老松町ブラックマーホーム內にてさゝやかながら會員一同より成りたる素人音樂會を、例會にあはせて開く。來會者六十五名（內會員十七名）守屋會頭司會のもとに、例の如く議事法により簡單に會務を議し、後會員の手にて成りたるスクラップブック及びハンカチーフ等を出席者諸姉に買つて頂き、讃美、祈禱を以て一先づ例會を閉づ。それよりいと樂しき音樂會にうつる。曲目左の如し。

一、オーガン（過去の夢）	佐々木
二、オーガン、ピアノ合奏（蘇國の花）	堀內、島村
三、歌（我が羊を飼へ）	有志
四、ピアノ連彈（ラ、パラデアイン）	ハサウエー、安村
五、オーガン（埋葬の曲）	小山
六、獨唱	小澤
七、ピアノ、オーガン合奏（埋葬の曲）	佐々木、石井
八、ピアノ（夕べの調べ）	安村
九、ピアノ連彈（軍隊マーチ）	今井、高田
十、合唱（夕べの休み）	有志

次に一同圓くなりて、面白、をかしき競技に移る。やがて會員の手にて育ちし美しき花束のはこばれて其の日主客たる看護婦諸姉に贈る。それより茶菓を喫しをしき別れとはなしぬ。時まさに五時半。

各地通信

本部

七月四日（月）午後三時より常置委員會を開く出席者、矢島會頭、小崎、藤井、杉本、守屋、松宮、田山、古田、栗原、飯田、根本、スペンサー、大關諸姉。

一、決議文實行委員長守屋東姉の報告。

一、ワイドナ姉よりの來書につきて報告。

一、松本、古田、スペンサーの三姉の名を以て米國コルドン姉に專任幹事に付て手紙を出す件。

ワイドナ姉は他四名の婦人等と共に日本の書を賣りて金百圓を得、今回萬國大會に必ず日本人の代員の派遣されん爲の費用の一部として送り來る、其厚意を深く謝して手紙を出す。

芝

大正四年七月八日第二木曜日午後二時より芝四國町根本夫人の御宅にて例會を開く。出席會員十四名、來賓一名。井深會長は矯風會員は常に吾が會は世俗にいふ人氣の無き會なれば、注意して殊更に他人より嫌氣に思はれぬやう注意しなければならぬ去れど我等の主張は根本的の仕事なれば、主義は飽まで貫徹するの覺悟を忘れてはならぬと説かる。當日の重なる協議は御大典記念運動につき矯風會の爲すべき仕事につきてなれば、書記杉本は近頃本部がなしつゝある活動の模樣の一班を語る。後會員一同或は子女の教育に付き、或は家政のいろ／＼研究に付き、心措きなく問ひつ問はれつす。當日御主人役なる根本夫人は御屋敷にて出來たりしとて枝豆の御馳走を勧め御心をこめられし御もてなし振りに、佐竹夫人の紅き美しき櫻の實の御土産に、一同懇談して時の過るを忘れ、散會せしは午後四時半なりき。當日會計の手に入りし本部事務所買入の爲の金額は左の如し

金百圓　佐竹夫人、　金五圓　植田米子、
金拾圓　井深花子、

新入會員、重實すゞ子（書記、杉本鉄）

麹町

七月十二日、午後三時より事務所に於て例會を開く、出席者八名、岩村安子姉の小供の取扱に對する注意として有益なる實驗談ありき、文書課長安中花子姉あたかも來京中なりしにより地方雑感を伺ふ。

弘前

六月十九日午後二時より寺町會堂樓上に於て例會を開く、會長司會の下に山鹿牧師の講話ありたり、大略を記せば「我國の社會に於ては特に婦人の注目と助力を要する事は數ありて殆んど手の及ばぬ程であります、本年京都の大會で決議された二箇條の如きは實に婦人の盡力すべき働きで即ち特に矯風會の使命であると思ひます、聞く處によれば本年秋此地方を中心として大演習がある由然も弘前には長くも行在所が設備せらるゝといふ事であります果して事實と成るならば此處も大切な場合には御大典の時同様市内を清潔にし衛生的病毒を絶滅せしむるのみならず、消徳的に清淨無垢の地たらしむる爲に風俗を紊亂する行動は今より改めて置きたい者であります云々」夫れより事務の相談をなし讃美を以て閉會す、三時半なりき。（高杉）

大阪

六月廿五日午後二時より青年會館に於て地久節祝禱會を開く。杉田夫人の司會にて中村姉聖書朗讀菊地姉祈禱せられ司會者開會の辭を述べらる次で阿邊夫人を初め數名の姉妹皇室の爲特に皇后陛下の御爲に熱心なる祈禱と感謝とを捧げたり、讃美合唱の後林支部長祝辭に添へて所感を述べらる、祝の歌三七三番を合唱し名出牧師の演説にうつる、「維新の際は時の政治家が大英斷を以て自由平等の精神穢多の解放人心賣買の禁止など實に有難い時代になつたが事實はまだ大正の今日も其實行が出來て居らず、公然公娼制度を設け營

業をゆるし彼等より多くの税をとりそれを以て重要なる費に使ふのは今更恥しき事なり、我日本は東洋の文明國など丶いはれる義理でないとて實例を擧げて我等の姉妹であり且 陛下の赤子であるあはれむべき姉妹等の爲に祈りまたいまはしき事の全廢の道を講ずべきである今秋の御大典を記念として公娼全廢の決議文を出されたるは喜ぶべき事である會員たるもの努力せられんことを望む」と懇切に敎へられたり、君が代を唱し名出牧師の祝禱にて閉會後林支部長より、決議文は知事を初め各方面に配布して賛同を願ふ事。矢島會頭の誕生日を萬國婦人矯風會は「日本日」として年中行事に加へられ本年より實行せられしにつき來年より本支部に於ても記念集會を開くべき事。其他の報告ありたり、暴の雨に出入困難なりしにもかゝはらず七十餘名集まる。

本部より「限りなき喜び同じ地久節」と祝電來る。

呉

四月廿二日午後二時例會を開く支部長司會讃美祈禱聖書朗讀戸田幸子姉ヤコブ五章につきてエリヤの祈の實驗を語られ數名の祈禱あり、支部長大會の實況を語らる、本部事務所の爲に相談する處あり當支部より貳十圓寄附する事に決、宮本會計轉ぜらる由報告ありたり。

六月三日、メソヂスト教會に於て母の會を開く糸川夫人司會の下に支部長の聖書朗讀西村姉の祈禱ありて開會宇津小兒科醫師の消化不良の哺乳兒につき綿密に語られたり、六月廿五日午前九時半より日本キリスト教會内に於て支部臨時總會を開く、役員選擧を行ふ、支部長十時爽、副會長中山松、書記山崎美賀、會計丹下まつ、母の課長糸川みち、教育課長ミス、ギレスピー、花の課長稲田絲、種々なる議事の協議中最も力を入れまた今秋御大典を期して左の二件を決議し運動にかゝる。

一、旅宿と料理屋との兼業を廢止すること。

二、曖昧料理屋、待合、券番置屋藝妓養成所なぞを一廓内に區劃すること。

此二件につきて市内有志者の意見を聽取せん爲此日招待す、出席來賓は九名、意見を述べられし方は、澤原市長、池田中學校長、小畑牧師、栗屋牧師、宇津醫師等なりき、出席會員四十餘名實に有益なる集會なりき。

御大典記念運動費寄附金第一回報告（大正四年七月十五日第一回締切）

人名	入（円）
近藤みつ子	一、〇〇
名出氏	一〇、〇〇
山川氏	一、〇〇
小宮珠子	八、六〇
仙臺支部	五、〇〇
平野氏	、二〇
匹田夫人	三、〇〇
清水きく子	二、〇〇
徳富久子	一、〇〇
徳富靜子	一、〇〇
林歌子	二〇、〇〇
古田とみ子	三、二〇
小石川育年部	一〇、三五
岡田ほも子	一、〇〇
宮田順一氏	五、〇〇
小西梅子	一、六〇
小宮珠子	一、七〇
岸夫人	一、〇〇

出

出所

筑前若松支部　大阪支部　神田支部　赤坂支部　東京小石川部　小樽支部　堺支部　芝支部　神田支部

所屬支部

赤坂支部　麹町支部　麹町支部　番町教會々員　同　赤坂支部　同　大阪支部會長

總計金七十六圓六十五錢也

會計　杉本鉞子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

it was decided that Japan should no longer depend only upon amusement in entertaining. That time is past, and the ceremonious occasion of the crowning of our latest and most progressive Emperor, is a peculiarly fitting time to introduce a new and progressive plan for entertaining with cordiality and dignity, by ladies clad in the costume which for centuries has represented the dignity and culture of the best womonhood of the nation.

This decided, the question of how it can be accomplished, resulted in a decision that the Kyoto ladies be requested to ask the assistance of the members of the Japanese Ladies Patriotic Society and the ladies of the Red Cross Society. It is hoped that the untired helping hands of these three bands of ladies being held responsible for entertaining the guests, can be so planned as to be successful. It is needless to mention that young girls are not included among the entertainers.

The wives of all the officials are members of one or the other of these societies. Thus, representative women of Japan will, for the first time since the beginning of feudalism, have an opportunity outside of home, of showing sympathy and interest in the lives of their husbands. If they can do this, in an important public function and thus usurp the place of women of an inferior class—they will show the world that the quiet woman of Japan is no longer to be pitied, or her husband looked upon as a man of low ideals.

Our nation is, in all respects, gradually advancing toward the highest standards. Its men are loyal and ambitious for their country's good, and its women, while remaining true to their modest and gentle training, can give their share of help by boldly discouraging any evil that interferes with the highest good for their husbands, their children and their homes.

Etsu Sugimoto.

The Grand Benefit Concert, held on the 26th of June, was a great success, notwithstanding the unfortunate happening of other gatherings of similar character taking place on the same afternoon. The large auditorium of Uyeno Musical Conservatory was filled; over 700 people being present. The net profit was Yen 300. This is the first earnings of the Union for the "Women's Home," the amount already in the treasury representing gifts, and it is looked upon as the corner-stone of the much-needed building.

The interest and sympathy shown by the public and by different newspapers, well testifies the great need of such a home. As civilization advances, employment for women workers is an ever-growing problem. Not a day passes that women do not come to the Headquarters, asking for assistance in obtaining work. Often these are young girls of their teens.

Many of them come from country homes, having a longing spirit for all the advantages which they believe will be found in Tokyo. Too often their simplicity and their ignorance of city life, causes them to fall an easy prey to designing employers. A good, reasonable-priced home, which can be a temporary boarding place for these girls and also a guide to suitable employment, will prove a blessing.

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

WOMAN'S HERALD.

(*Fujinshimpo*)

The Kyoto Union has sent a letter to the Headquarters, asking for advice. Since the April Convention, the White Ribboners of that city, though they are only a handful of women, have been working steadily and vigorously, to make effective the resolution forbidding geisha girls to take part in the Government Coronation ceremonies. The letter states the result of their labor, and presents a proposition from the Kyoto municipal officers.

This body of men expect, during the coronation festivities, to give a very large and elaborate entertainment, in which they are to act as hosts. The guests are to be foreigners from the various Embassys, strangers from abroad, and many important and influential Japanese people. It is the plan to make this entertainment one of the conspicuous features of the entire program of the festival season. The city authorities, influenced by the persistent appeals from the Union, wish to have a distinct understanding with the White Ribboners. They say they will do their best in co-work with the members of the Union, to entirely bar geisha girls from this function, provided the White Ribboners will themselves be responsible for entertaining the visitors.

In one word, these elegant, well-bred ladies are asked to step out of their shielded homes, and take the place of proffessional public entertainers, whose occupation has always been looked upon by the wives of Japan as questionable and inferior. At the Executive meeting, held last week, this question was thoroughly, and rather excitedly, discussed. The ladies all realize that the custom of giving up all entertaining into the hands of geisha, is a poison to society, and all feel, that without abolishing the traditional custom, little can be done toward the elevation of womanhood, or increasing her opportunities for usefulness to the Nation; and yet, the question of who will venture, and how it can be accomplished, is a very serious one. Not only the reluctance to act as substitute for such characters, is felt, but the difficulty of a quiet group of dignified ladies, clad in ceremonious black and white, being able to infuse any spirit of gayety into the feast, is to be encountered. The past training of Japanese ladies has been such that their *willingness* alone, in this matter, is useless. Other qualities also, are necessary; qualities which would enable them to put aside all exclusiveness, and appear with their usual ease and graciousness in the midst of unfamiliar surroundings.

After long and serious discussion,

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察月、水、木、金、午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麹町區三番町三十番地(市ケ谷見附内)
電、番六二番

東洋内科醫院

院長 醫學士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

相州茅ケ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（明治四十五年六月廿五日第三種郵便物認可）婦人新報第二百十七號（大正四年七月廿八日發行 毎月一回發行）

ライオン齒磨

ライオン煉齒磨

旅行には是非共必要！

ライオン水齒磨

食後寝前には不可缺！

本誌定價一部金六錢

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA